

# 赤ちゃんの特徴 (新生児黄疸、生理的体重減少について)



# 赤ちゃんの特徴



体重：約2500～3000g  
身長：約48cm  
生まれた週数などによって  
個人差があります！

新生児とは・・・  
生後1カ月頃までの  
赤ちゃんを指します

## ◎聴覚・嗅覚

赤ちゃんは声や匂いでママやパパがわかります♥

お腹の中で聞いていた声が聞こえると赤ちゃんは安心します。たくさん抱っこしたり、お話をしてあげてください♪

## ◎視覚

新生児の頃の視力はまだぼんやりと見える程度です。

生後2ヶ月頃になると、徐々に視力は発達し、目の前でゆっくりおもちゃを動かすと目で追うことができるようになってきます。



# 赤ちゃんの特徴



## ◎触覚

熱い、冷たい、かたい、やわらかい、痛い、かゆいといったことを認識する触覚はとても敏感です。こうした触覚は自分の身を守るためには欠かせません。赤ちゃんはスキンシップを通じて「心地いい」「安心する」と感じるので、どんどんスキンシップをしてあげましょう♡



## 新生児黄疸



新生児黄疸って・・・？

黄疸とは一言で言うと「肌が黄色くなること」です。  
新生児黄疸は、ほとんど全ての赤ちゃんに起こります。  
黄疸とは、血液中に含まれるビリルビンという物質が肌や白目に透けて黄色く見える状態のことです。  
ビリルビンは肝臓で処理され、便として排泄されます。生れて間もない赤ちゃんは、肝臓の働きが未熟なため、ビリルビンの排泄が追い付かず、黄疸になりやすいです。

## 生理的体重減少



赤ちゃんの生理的体重減少って・・・？

「生理的体重減少」とは、赤ちゃんの体重が生後数日の間に減少していくことをいいます。

生まれたばかりの赤ちゃんは、まだ上手におっぱいを飲めません。そのため、飲む量より、ウンチやおシッコ、汗などで出ていく水分量の方が多くなり、一時的に体重が減ります。

初めは出なかったおっぱいも3日目頃になると、分泌は増加し、個人差はありますが、生後7日～14日頃には出生時の体重に戻ります。



ミルクは必要ないの・・・？

お母さん、赤ちゃんの状態によって、  
新生児科医師・産科医師が医学的に必要と判断した場合、  
ミルクを足すことがあります。



- 体重が著しく減少している
- ウンチ・オシッコの回数が少なく、発熱がある
- 黄疸が増強している
- お母さんの治療が必要